



2024・3・11

No.22

スエTの科学の時間～最終回～



さのの違いを感じました。1枚・10枚・100枚・1,000枚と増やして

3月8日（金）に、今年度最後のスエTの科学の時間がありました。テーマは、「水圧」です。「水圧って知ってる？」「聞いたことあるかも～」「圧力って難しいね。実際に体験してみよう！」と、1つ目の実験をしました。

まずは、重さを感じてみようということで、新聞紙を手の上にのせて重



いくと、初めは、「軽い、軽い～！」と言っていた子どもも、1,000枚になると、「重いー！！」と違いを実感していました。次に、水槽にゴムの膜を沈めてみると、浅いところでは少しへこみ、深いところではたくさんへこむ様子を観察しました。「どう変わるかよく見ていてね」と言われ、みんなで水槽にかじりついてみていました。「あ！！へっこんだ！！」と不思議に目をキラキラさせている子どもたちでした。

水の中では、上下左右、あらゆる方向から“ぐー”と押されていて、これを「水圧」と教えてもらいました。

最後の実験は、ビニール袋に手を入れて、そのまま水の中に入れるとどうなるかを一人ずつ試してみました。「うわー！くっついてくる！」と大興奮の子どもたち。「袋の中で、グーとかパーに手の形を変えても引っついてくるねんで！」と自分が発見したことを友だちに教えあう姿もありました。「あったかいお湯の中でもおんなじかな！？」と新たな疑問を持つ子どももいました。



最終回だったので、最後は特別に、韓国のお話「とらとふえふき」の紙芝居を見ました。

1年間、『スエTの科学の時間』を通して、生活の中での不思議・面白さを科学的に体験してきたくま組。新たな発見に胸をときめかせてきました。ふたば園での経験を小学校でも活かしてくれたらと思います。